



## 電子決済等代行業者との契約締結について

名古屋銀行（頭取 藤原 一朗）は、より質の高い金融サービスをお客さまにご利用いただけるよう、電子決済等代行業者とのオープン・イノベーション（連携・協働による革新）を図るための契約を締結いたしましたのでお知らせします。

### 記

|           |   |
|-----------|---|
| 1. 目的     | <p>当行が提供する法人向けインターネットバンキング「名古屋ビジネスダイレクト」及び個人向けインターネットバンキング「bankstage」と、電子決済等代行業者の提供する各種クラウド会計サービスや家計簿アプリ等のスクレイピング※1による接続を許容する。</p>  |
| 2. 連携する業者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Miroku Webcash International 株式会社</li> <li>・ 株式会社マネーフォワード</li> <li>・ フリー株式会社</li> <li>・ 株式会社 Zaim</li> <li>・ 弥生株式会社</li> </ul> <p>※連携する各社サービス等については当行ホームページをご覧ください。<br/> <a href="https://www.meigin.com/about/denshikessai-gyosha-scraping.html">https://www.meigin.com/about/denshikessai-gyosha-scraping.html</a></p> |

なお、当行は最優先課題として 2021 年に予定している次期基幹系システムへの移行作業に取り組んでいるため、まずはスクレイピングによって既存のサービスを維持することでお客さまの利便性を確保し、参照系 API※2 での接続についてはシステム移行後の対応を検討しています。

今回の取組みを恒久的なものとすることなく、引き続きお客さまにとって最適な金融サービスの提供を目指してまいります。

※1 スクレイピングとは、ウェブサイトから情報を抽出するコンピュータソフトウェア技術のことです。

※2 参照系 API (Application Programming Interface) とは、銀行以外の企業が銀行のシステムに接続し、お客さまの同意を得た上で、お客さまの口座情報（残高照会や入出金明細等）を参照するプログラムです。

以上